

**製品名: PPM1G ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84054**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	Calculated MW: 59 kDa ; Observed MW: 75 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PPM1G
別名	PP2C; PP2C gamma; PP2CG; PPM1G; PPP2CG; Protein phosphatase 1C; Protein phosphatase 1G;;PPM1G
遺伝子 ID	
SwissProt ID	O15355
免疫原	ヒト PPM1G 由来の合成ペプチド

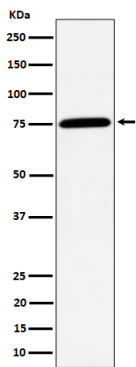
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質ホスファターゼの PP2C ファミリーのメンバーです。PP2C ファミリーのメンバーは、細胞ストレス応答経路の負の調節因子として知られています。このホスファターゼは、機能的なスプライソソームの形成に重要な、Pre-mRNA スプライシング因子の脱リン酸化に関与することが分かっています。マウスにおける類似遺伝子の研究では、このホスファターゼが細胞周期の進行を制御する役割を担っていることが示唆されています。

## 研究分野

-

## 画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の PPM1G 発現のウェスタン プロット分析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

